

大津弘報

新年号主要記事

第六回大津町定例議会開かる

楽しく明けた一九六〇年

町長年頭挨拶

新しい年をむかえて

自動車運転場いよゝ実現

農業委員会委員選挙人名簿従覧

土壌線防除対策実施計画

秋落水田調査希望者は役場まで

衛生活動は冬のうちから

新らしい村づくり・町づくり

第三回大津簡易保険加入者の会代表者会開催

妊婦届は急いで

正月中にレントゲン再検診を行う

交通事故の原因種々相

畑作振興は混層耕から

お知らせ

大津町保健福祉地区協議会発足

善行学童に警察署長表彰

消費者の皆さんへお知らせ

防犯弁論大会について協力方お願い

詐欺と押売りの予防

国民年金請求は厚生課へ

町営住宅竣工

大津山岳会結成

栄冠大津町青年団に輝く

民生委員担当地区決定

成年に達する三百余の若人

無人踏切り反対

婦人会の年末授け合い運動

風邪に注意！

第六回大津町定例議会開かる

第六回大津町定例議会は十二月十一日に招集、本会議開催のうち西本議長より会期について訊り、坂本町長より提案理由の説明ののち提案に対する質問があり、続いて一般質問に入り担当課長との間に質疑応答があつて第一日を終り、
十二日午前十時より文化、経済、土木各委員会開催同午

後一時より総務委員会を開き全議案に対する審議を続けた。同十四日午後本会議再開谷本総務委員長、本田文化委員長、石崎土木委員長、宇野経済委員長より、委員会の報告があり、続いて逐条審議ののち第八十四号議案より同九十七号議案の全議案を原案通り可決した。

楽しく明けた一九六〇年

本年こそ大いに頑張りまじよう

◇一、贈答やめて貯蓄へ 一、回礼やめて家庭だんらん
一、門松やめて福藪掲揚
これは大津町中央公民館と同町婦人会連絡協議会が申し合せて各家庭に協力力を求めている新生活運動の実践事項でございます。一九六〇年こそ、無駄を省いて本当に意義ある生活をうちたてましょう。

◇大津小学校では年末、九百戸の児童の家庭に「元旦の学校に於ける祝賀式はやつたがよいか、止めたがよいか」についてアンケートをした。『上めたがよい』と答えて来た家庭が五三%、『続けてやつたがよい』と回答して来た家庭が二五%、どちらでもよいが二%でありました。

そこで同小学校では早速にP・T・A例会を開いて検討した結果、当日の式は取りやめることにしました。この式をとりやめた理由は……一、元旦は各児童とも家庭中心に楽しく祝はせる。二、式に出席する児童の服装に気をつかわせない点などがあげられています。

◇……めでたい一九六〇年の行事表

(一月)	(二月)	(三月)	(四月)
一日……元旦 二日……初旬 四日……宮庁仕事始 一五日成人の日 二八日旧正月	四日……節分 一五日……立春 二二日……初午 (高樫稲荷) 二五日……電気記念日	三日……緑の節句 栗島神社祭一日……緑の羽根祭(宇士)	七日……消防記念日 一五日……大津の館市 二〇日……春分の日 二五日……電気記念日

〇……火国まつり 一〇日……婦人週間 二〇日……郵政記念日 二八日……講和発効記念日 二九日……天皇誕生 月日開行事 ついで祭 (大津)	二二日……夏至 二五日……盆 二八日……土用入り 二九日……小暑 七夕 一〇日……盆 一五日……土用入り 二二日……本妙寺 二三日……大暑 二八日……おんのだ 二九日……まつり (八月)	六日……広島原爆 七日……立秋 九日……長崎原爆 一五日……終戦 一八日……終戦 二二日……終戦 二三日……終戦 二四日……終戦 二五日……終戦 二六日……終戦 二七日……終戦 二八日……終戦 二九日……終戦 (九月)	一〇日……山鹿灯ろう 一五日……年賀郵便取扱開始 二二日……至冬 二五日……クリスマス 二八日……御用給 三一日……大蔵
---	--	--	---

年頭挨拶

町長 坂本篤美

昭和三十五年の元旦を迎へ、謹んで町民皆さまの御健康をお慶び申し上げます。今年は西暦で申しますと一九六〇年になり、誠に記憶しやすい年であります。私達の最愛の郷土大津町も町村合併以降第五年目を迎へたことになるわけでありました。私は新大津町初代の町長として、最も重要な四年間の町政をお預り致しましたが、皆さまの心からの御支援と御協力により、幸い新町の肥立ちも大へん良好で、此の四年間には大津町が優良町村なるが故を以て、自治庁大臣、熊本県知事、熊本県町村会等からの表彰をいただきました次第であります。

新市町村建設促進法による新大津町建設計画も本年度で施行第三年目になり、又政府の新農山漁村振興計画要綱による大津町新農村振興計画も南部地域（旧陣内、錦野、瀬田村及び旧大津町の大部分）は本年度で施行完了、北部地域（旧平真城、護川村及び旧大津町の一部）は本年から施行の段階に入ります。

新大津町発足以来、町民の皆さまの御要望に応へて随分と各種各様の事業を行ひましたが、主要なものを挙げますと、概ね次の通りであります。

（本年三月完了のものを含む）

一、役場庁舎の増築

一、道路、橋梁、護岸等の整備

一、土木用トラック、三輪車等、庁用乗用車、スクールバス其他機動力の設備

一、中学校の統合一校、小学校の新築二校

一、公民館の新築一館、一、保育園養老院の新築一、町営住宅の新築九十五戸低家賃住宅二十戸

一、一、保健水道の新設二地区、一、国民健康保険の全地区施行

一、診療所の開設 一、乳牛、豚、種牛馬の導入 一、各種試験田畑の設置

一、町有林の育成、国有林の払下げ

今年の前半は新大津町の揺籃（ゆりかご）時代とも申すべき第一期の締めくくり時であり後半からは新町の体力養成時代とも申すべき内容充実の時代が始まるわけでありました。私も郷土の発展、住民の福祉増進を念願して、町民の皆さまと手をたぎさへて前進して参りたい所存でございます。茲に平素の所感を述べ覚悟を新にして、年頭の御挨拶を申し上げます。次第でございます。



新しい年をむかえて

大津信用協同組合

組合長理事 西 本 重 利

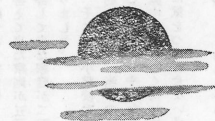
新年明けまして

御目出度御座ります

昨年中は皆様の絶大なる御支援と御協力に依り

当組合も順調なる進展を見るこ
とが出来まして心から御礼申上
げます

尚組合も昨年三月総会に於て決
定致しました事務所も目下工事
中で本年一月中には完成し二



みんなが待っていた

自動車練習場

いよいよ実現

馬の運動場も兼ねて……

大津町から無免許運転による交通事故をなくするため
には、先づなによりも乗客が安心してけいこできる安全
な場所がほしいと、かねて運転免許をとりたい人や交通
安全協会員等と考えていましたが、なにしてる協会でこそ

農業委員会委員

選挙人名簿の縦覧について

農業委員会委員の選挙人名簿は毎年十二月一日現在で
各人から申請される農業委員会委員選挙人名簿登録申請
書を基盤として作成されることになっております。

今回もすでに各人からの申請書を提出されておられま
すが、中には毎日のいそがしい仕事に追われて大事なこ
の申請書の提出を忘れていた人達があるかも知れません

月早々新事務所です務を開始する運びとなり新年度にお
きましては内外共に一新し皆様の要望に御答へすること
が出来たる機に職員一同一層の努力を傾注し本組合の発展
に精進する覚悟で御座りますので何卒昨年に倍し尚一層
の御支援の程を御願ひ致して年頭の計にかへる次第で御
座ります。

x x x x x

んな予算もないので、これが設置方を大津町に要望して
いましたところ、十二月十二日の町議会で快く承認にな
り総額四拾万一千余円（敷地買上、及び施設費）の予算
を計上されました。

大津町松岡上の県道沿い東側高倉の細地六反二歩を
町有財産として買上げ、新春早々いよいよこれが整地作
業にはいることになりました。これで今までよく見かけ
た道路での危険な無免許運転練習もなくなります上、警
察で毎月行っている原動機付自転車の運転試験もそこ
でできることになり、二重のよろこびです。

これは、偏に町民みなさん方の御協力にたまものです。

ので特にお知らせをするわけでありませう。

特に今年は農業委員会委員の改選期にもなっておりま
す。今度の農業委員会委員選挙人名簿に登録されていな
いと農業委員の選挙権はないこととなります。

農業委員会委員の選挙名簿は、一月二十日から十五日
間、大津町役場に於て一般の縦覧に供されるはすであり

ますから申請書の提出を忘れている人は勿論ですが、申請書を出された方も念のために、是非一度この総覧期間に、この選挙名簿を縦覧されることを、おすすめて致します。若し選挙人名簿に登録されていなかったらこの総覧期間内に選挙管理委員会に異議申立をして下さい。

選挙の時になって、あわてゝも、その時では間に合いませんので、必ず縦覧されることをお願いしておきます。
(大津町農業委員会)

土壌線虫防除対策 実施計画について

大津町は農業振興の促進の一つとして今まで無関心同様であった土壌中の線虫を一通り耕作の体系作付種別改善等により所得を高揚し、畑作農家の経営安定のため三十四年度より、次の対策を実施計画中であります。

畑作土壌病害虫は年々増加の傾向であります。特に畑に作付する作物すべてに寄生する土壌線虫の被害は収量、品質を低下させ、合理的な作付体系や適地適作の推

進を大きく阻害して居る現状であります。

土壌線虫対策としてまず問題点は防除費用にして反当七〇〇円の薬剤代金を要しますので、実施後三ヶ年間は防除する必要もありませんが此の農薬代金の補助金交付を受けるため県の対策要綱に基き本年度は一〇町歩の県指定を受けるため土壌線虫検診予備調査を旧六ヶ町村の畑地の約一〇町歩の畑地で行い、去る十一月十八日より約四〇町歩の植物検診及土壌検診を実施し、県農業試験場に送付し、精密調査を依頼中であります。此の結果に基き三十五年度本指定を受ける予定であります。

一〇町歩の所要農薬代は四七万円がこの半が県、1/4が町費、残1/4が受益者負担であります。

大津町は建設計画を基礎に

目により実施中であります。

農業所得の増大を計るため農業振興の一端として増産技術

1、水稻の生育生態調査………生育ケツク成熟状況及止葉の採取

の改善と共に耕土培養事業として県当局の指定を受け県農

2、土壌調査………作土、飼床、心土の土壌採取

業試験場の土壌調査部の指導の下に三十三年度より水田の

3、施肥及栽培の慣行調査………従来栽培した品種、種別栽培の慣行調査

秋落地域を重点として旧大津の新村、旧陣付の堀村の両地域にわたる五〇町歩の秋落水

以上であり三十五年度も県指定五〇ヘクタールの秋落水田を実施する計画でありますので御希望があれば郡落単位に経済課農政係まで御申込み方を御願ひします。

秋落水田の調査

御希望の方は役場まで……

衛生活動は

冬のうちから……

地帯の改善を目標に調査実施を去る十月十四日より行い耕土培養の対策を講じました。

次に此の事業の目的は県指定による秋落水田の土壌並に生菌調査を実施し其の程度によつて土壌の分類を行ひ分類せられた地域毎に土壌改良資料として硫酸、鉄等の土壌中の要素の種類並に肥料施用量及施用方法及栽培上の注意事項を発表し増産の段階を促進する方法であります。

調査方法として水田の秋落の著しい地点五〇アールに二ヶ所の割合にて一〇〇ヶ所位の地点を設け次の調査項

- 1、ねずみ駆除 殺を剤は近くの薬局か役場衛生係へ
- 2、ハニのサナギ駆除 便所、肥溜等の「ウジ」の発生しやすいところの周辺一メートル位を深さ三〇センチ掘りますとサナギが出て来ますから掘り出したサナギは深さ一メートル位の穴に埋めるか焼殺して下さい。

集団的にやられると相当な効果があります。

3、事業計画 正月に各衛生組合毎に35年度の計画を打合せておきます。例へば予算とか事業面等について……。

新しい村づくり、町づくりは

簡易保険の団体貸付で

郵政省の簡易保険では、こんど団体貸付を利用しやすいように改正した。

改正された団体貸付制度の内容は簡易保険加入者の団体、保険衛生施設、厚生施設、その他被保険者の共同の利益を図る施設をするような場合には、月額保険料の三十倍までの範囲内で、しかも新規加入直接でも貸付をすると云うことになったものである。

たとえば共同で商店街のアーケードやネオン塔をつくったり、共同で使用する農機具やモーターを購入したり部落の親子ラジオを施設したり、或は婦人会や道楽会で

は婦人会館や集合場をつくつたりなど、加入者共同の利益となる施設を計画しその資金として借受ける場合、保険の新規加入後でも直ちに貸付申込に応ずると云うものである。

因みに貸付利息は年六分であるが、保険料の団体割引料七分が返付されるので、その還付金で貸付金の利息支払に充てられるので、非常に便利である。

郵便局ではく新しい村づくり、町づくりは簡易保険の団体貸付で、その利用を呼びかけている。

第三回大津簡易保険加入者の

の会代表者会議開催さる

大津郵便局区内の簡易保険加入者の会代表者会議は同会全国大会に九州代表として出席した清藤会長を迎えて代表者十名局側より柳沢、永田氏出席のもとにこのほ

と開催された、先づ清藤会長より

「簡易保険の果す国民の使命は安い保険料で広く国民大衆の経済的福祉を図るのが目的で、その福祉施設として別府の簡易保険加入者ホームや保険無料診療所、巡回

無料診療所等のあること、積立金の地方公共団体に対する

貸付によつて地方福祉に貢献していること、将来は中小企業に対する大幅な積立金の融資を要請していること、九州離島に対する無料診療所が配置される見込みなること、等々、詳細に亘つて全国大会の模様を説明あり。

局側よりの区内状況説明あり、特に地域団体保険組合の結成に協力方要望あつて散会した。

因みに、団体保険は被保険者十五名以上あれば月額7%の割引還元金があり、職域は殆んど結成されているが、最下P・T・A等の地域団体が出来つゝあり将来この還元金によつてP・T・A運営資金を捻出することになり期待がもたれている。

妊婦届は急いで願います

母子手帳をもらうために提出されている妊婦届に記入漏れの点が多く其のため母子手帳にも記入されない事が再三あり特に妊婦さん本人が御主人の生年月日をほとんど御存じない様ですがこれは産婦人科の先生又は助産婦さんに記入方を万事たよりすきておられるからではないかと考へられます。

妊婦届は用紙を役場で求め自分で記入し、それから医師又は助産婦さんに診療をたのみ、証明してもらつて戻すになりますこの証明のある妊婦届を提出されば母子手帳を交付しますが妊婦さん又は御主人も一応目を通してから提出して下さい。

正月中旬にレントゲンの再検診を行います

先般(十一月廿、旧暦野、旧瀬田、旧平真城及び其の他旧陣内の一部)を実施した間接レントゲンの結果、本当に病気が又は最り方が悪かつたのかわからず異状があつた方が三〇〇人はど保健所より通知があつたのですが、保健所の窓口の人員等に加へて何かと多忙と思われましてで正月中旬保健所と再打合せの上、直接レントゲン及び精密検査を一日に三〇〇人乃至四〇〇人の予定で実施します。

該当者には個人宛通知を発送しますが正月中旬まで何通知のない人は異状のない方ですが尚通知があつた人も必ず病状と決定された訳ではございませんので指定された期日に是非受診して下さい。

交通事故の原因の種々相
お互に注意しましょう

(例一)

大津町釜中島ガソリンスタンド前の国道で、十一月三日トラック運転手熊本市堅留井上恵三(四六)が熊本市から高森方面にむかう途中、两侧に自転車が停つて狭くなつてゐるところを通り抜しようとした際、前から傘をさして自転車をやつてきた大津町釜中島大山長(長也)と(一九)と衝突したため大山は右足と顔に一日のケガをした。

原因と見られる点

- 1、自動車の両側駐車。
- 2、自転車の傘さし乗車。

(例二)

菊陽村水の中尾の田熊喜さん方前國道で、十一月十六日熊本本町から大津方面へ走っていたタクシー「運転手熊本町大江町渡邊八二九大衆タクシー宮本義人さん（二九）が前からきた宣伝バ「」運転手福岡市埴浜町二九六東芝電器手橋昌三さん（二〇）に気づかず衝突し両方とも車が破壊したがケガ人はなかった。

原因と見られる点。

1、居ねむり運転。

畑作振興は混層耕から

試験圃場岩坂へ設置

畑作農具による農家経済の向上が呼ばれる今日、大津町としては土壌の混層耕（ブルトザ）による約一尺七寸の深耕により地力の増進、生産力の向上をはかるため次のとおり土壌混層耕による農作物増収栽培試験展示場を設置致しますのでお知らせします。

尚ブルトザーによる温層耕実施の際には農家組合長を通じてお知らせ致しますのでその際は多数の参観方お願い致します。

(例三)

原水駅通りの国道で十一月八日早前飲食店で酒を呑んだ揚句単車に乗って自宅へ帰りかかった熊本市井町二丁上田商會木崎翁さん（四五）が前かからしたトラックに運転中阿蘇郡高崎村山二五三、三森藝男さん（二四）と衝突、高崎さんは道路端に覆ねられ右足打撲一ヶ月の重傷を負い大津町金田医院に担ぎ込まれた。

原因と見られる点。

1、酒のみ運転。

(例四)

(四)

原水新町古閑大次さん方前國道で十一月十九日熊本から大津へかえつていた三輪車。運転手文津町大津飲料水製造業村繁男さん（四つ）が左前方より同じ方向へ進んで来た選抜用自転車（栗）が左前方より出て来た。野水吉さん（六五）の右横を追い越すとき両方の出過ぎた荷物が擦れあいそのた間野水さんは彼の隣に自転車もとも落ち胸に二週間のけがをした。

原因と見られる点。

1、双方積荷の出すぎ。

お知らせ

今回 大津町中央公民館では毎月皆さまのお宅に配布する大津弘報のとお込み表紙を区長さんを通じておくばりしました。これからの弘報は毎月これと同じ込んで下さい。

なお折れ目のところにはバンソウコウをかセロテープを裏張して置きますとなが持ちますので是非裏張して下さい。

大津町保健福祉地区協議会発足

保健と福祉が手をつないで本年度から始めて保健福祉地区協議会が発足することになり熊本県で天草町と大津町がそのモデル地区に指定された、そこで大津町では平川小学校区が指定され十二月十九日午前十時から平川養老公民館で発会式が挙行された。

席上、委員長をはじめそれらの役員を決定したが、大津町としては初めての指定を受けたことだし、同地区の活躍が大変期待されている。

各役員氏名は次の通り

委員長 大津町保健福祉地区協議会役員名簿
委員長 宇野マキ
副委員長 古庄貞義
顧問 菊池福祉事務所長 齊藤次夫
菊池保健所長 田中 穆
大津町社会福祉協議会長 坂本施美

大津町民生委員協議会長 笠原孝雄
矢野川診療所長 金子定邦
大津町中央公民館長 吉良武夫
校 医 村七武彦

委員

地区名	区代表	婦人代表	青年代表	民生委員
上 狼 渡	区 應	宇野マキ	郷 幸人	府内 登
下 〃 〃	芹川四七	宇野マキ	芹川孝徳	町 〃
多 〃 〃	三池亀平	府内三子	府内忠男	宇野 〃
馬 場	古庄武雄	古庄フタエ	西村千秋	三池平男
御 所 原	矢野 米	内田幸代	西村家生	魚野伯男
宮 本	田畑隆来	古庄セツ	古庄繁光	公民館館長
仮 宿	三池 勉	三池シズエ	松本桂次	古庄哲夫
			小学校長	木下七郎

○善行学童に

警察署長表彰

陣内小学校六年生 藤 森 稔 君
(森部港)

藤森稔君外六年生十九名は、昨年九月十五日登校中の友達が交通事故に遭つてけがをしたことから、交通規則を守ることがどんなに大切かということを話し合い、その年の四月一日から毎日欠かさず登下校のとき下級生をよく指導して交通安全につとめたことは、りっぱな行為であると認めて大津警察署長と交通安全協会長から十二月二十四日同校の終学式にあつて表彰状と賞品が贈られた。

消費者の皆さんへ

お知らせ

大津町役場経済課配給係

米穀需給事情の緩和により円滑な配給の実施を確保するため今般左のようにキロ建配給にかり十一月一日より増配されましたから家庭に今までのようにヤミ米に依存しなくても配給米で生計の安定が図れるようになりまし

「家計は配給米でやりませう」

一、増配について

- 1、内地米 糯米 六キログラム (十六、四日分)
- 徳用米①又は② 〃 〃 (五、五日分)
- 増加配給 (傾斜配給) 〃 〃 (五、五日分)

計一〇〇 (二七、四日分)

2、近郷加配 糯米 一 〃

3、在宅結核患者加配 〃 一五 〃

二、消費者の異動による配給について

- 1、一般的な転出、入の場合は、従来とおり転出地に
- おいて転出月分を全量配給します
- 2、出生、死亡の場合は、届出の月の配給分を全量配給します
- 3、米不完全保有生産施設 (所謂転善農家) について、は、配給開始日の月の配給分を全量配給します

三、外食券制度の改正について

- 1、現在外食券の利用者は大部分が入院患者でありまして、三食外食券等の利用に東京都以外にはご利用できませんので外食券は東京都以外では通用しません
- 2、長期、短期入院患者の方々についての配給の方法は病院の申請により市町村長の方で一般配給、加配相当量の配給数量を決定し、配給を行います
- 四、外米の配給の廃止

外米は一般消費者の分は購入通帳によらずに、それの小売配給店からも買入れることができます。

防犯弁論大会について協力方お願い

最近青少年犯罪は、再び増加の傾向にあつて憂うべき現象であります。その原因にはいろいろとあらうかと思いますが、この点につき青少年自身の耳に耳を傾けるのも防犯上の一策かと考えまして左記要領によつて青少年防犯弁論大会を開くこととしたので、御多忙とは存じますが出席者の決定と多数の御来聴方についてよろしくお願い致します。

記

一、テーマ
現在の青少年犯罪の増加をいかに考え、その防止の具体策について論じたもの

二、対象

大津警管内の中学生、高校生、一般青少年(二五才以下)

三、規定

一人につき五分以内とする。各学校一名とする、但し農薬部一名普通部一名とする。一般青少年は一社在所

管内一名とする。

四、場所

大津中学校講堂(予定)

五、審査基準

論旨 四〇点

態度 三〇点

声調 三〇点

三〇点の二〇点満点とし総合得点により、中学校の部

高校一般青少年の二部に分けて、一、二、三等の順位を決定し賞品賞状を贈くる。

審査員

坂本防犯連合会長(予定) 藤田教育長、吉良公民館長
県警察本部防犯課長田澤大津警察署長

実施予定日

昭和三十五年一月十七日午前十時より

(大津警察署、防犯協会)

これからふえる

詐欺と押売りの予防

例年正月から二、三月にかけて詐欺や押売り、寄附強要事犯が特に目立つてふえます。大津警察管内だけでなく本市ですでに五六件の詐欺事犯が発生していますが、よく似た代金詐欺、凶宅詐欺等商店や家庭をねらつた詐欺事犯が多くその手口も巧妙になっています。

警察では特にこれから多くなる詐欺や押売り、寄附強要事犯の予防に目を光らせていきますが、町(村)民の皆さんも次のこと柄に注意して被害にからないううにして下さい。

一、詐欺師はさつともらしい口実で上手にだましかかめるので見知らぬ人のうき過ぎる話には充分注意していただくこと。

二、今年の夏、大津町で「学校の〇〇だ」「三田の菓子」を頼みます。五千円だから釣銭も一語に持つてきてくれ」と電話をかけ、配達店員を途中で待ち受けて「五千円は学校の〇〇氏から買つてくれ」と信用させ、四、七〇〇円をだまされつた釣銭詐欺が相次ぎ、

の外にも同様手口で未遂に終つたものがありまふので見知らぬ者からの電話注文は特に注意していただくこと。

三、十二月に這入つてからも大津町で、御主人は熊本の会社に勤めておられる凶守居の奥さんを四十四、五才の男が訪れて「〇〇さんのお宅はこちらですか、私は熊本の〇〇という者です。

お宅の御主人とは会社ですよく顔を見知つて交際しております」と言葉巧みに持ちかけて奥さんを信用させた挙句「奥は今日は〇〇さんのお宅へこちらですが、大津町の〇〇で三輪車の修繕をしておきますが、丁度金を持ち合せていませうと一冊借して下さい」といって千円をだまし取つた外、同様手口で数軒からだまし取つて

いる詐欺事犯が発生しておりますので見知らぬ訪問客には充分注意していただくこと。

四、行商人などから物を買るときは中味と品質をよく確かめて、だまされないよう注意していただくこと。

五、押売などが物を売りにきたときは、からかい半分で物を見たりすると押売りの口実となるので充分注意していただくこと。

六、詐欺や押売り寄附強要など被害にかられたときにも多少にかかわらず、すぐ警察に届けて下さい。

国民年金の請求は厚生課へ

今般施行された国民年金の内福祉年金の認定請求書の受付は九月一日から開始されたが現在までの裁定請求書の進捗状況は次の通りである。

- 一、老令福祉年金 六三〇件
- 一、障害福祉年金 四六件
- 一、母子福祉年金 四六件

計 七十七件

福祉年金の受給資格は老令、障害、母子とも日本国籍であり、本人が、公的年金を受けていないこと及昨年の所得額が十三万円以下であること、又扶養義務者の昨年の所得に対する所得税額が、二万三千六百円以下であること。

尚以上の外老令福祉年金については満七十才以上であること。障害福祉年金については満二十才以上で身体障害者福祉法の第一級及第二級程度の障害者であること。母子福祉年金については満二十才以上であり夫と死別し義務教育終了前の子を扶養し又二十五才以上の子と同居していないことである。

右に該当するものでいまだ裁定請求をしていない者は役場厚生課係員に御相談下さい。すでに裁定請求所の方は二月末までに国民年金証書が、交付され支給停止となるものを除き三月に十一月から二月までの四ヶ月分の年金が、郵便局から支給されることになる。

町営住宅竣工

西鶴に二十戸

昭和二十四年度から住宅難解消のため町営住宅の建設を年度計画により建設中であるが、本年度は西鶴団地に第一種耐火木構造連棟二棟(十戸)及び第二種木造瓦葺平屋建(十戸)計二十戸を建設中であつたが十二月末完成したので入居申込者五十名により抽籤を行い二十名の当せん者を決定し新しい住宅で良い新年を迎えていただく事になった。

本町の町営住宅の現況は次の通りである。

- 水源町 三十八戸 段迫 三十三戸
- 旭町 十七戸 鍛冶の上二十戸
- 辻 十戸 西鶴 十三戸
- 天神町 十戸 陣内 二十七戸

大津山岳会結成(会員六十三名)

会長に 西 悟氏

大津山岳会は十二月十九日、大津中央公民館において結成式を行い会長、役員を次の通り決定した。

会長 西 悟 事務所 大津公民館

運営委員 歌岡良一、本田義雄、吉川栄助、吉村昌之、橋本聖、田代努、坂本明福、宮崎数弥、保々正業、桐原宏子、高野厚子

連絡係 役場 木野是吉

学生 丸山憲義

塩区 坂本明福

大津区 坂本明福

木野是吉

会費 月額五十円

第1回 月例登山会
集合時間・場所 一月十日、午前七時、大津西交中央棒所
コース 大津・中置田・真木・矢護谷・鞍岳・赤木・大津
会費 七五円 食事一回分各自持参のこと

今月の町税

町民税第四期分

納期 一月三十日迄

栄冠大津町青年団に輝く

郡青協主催第一周駅伝大会

郡青協駅伝大会は十二月二十日澗水駅前をスタート八ヶ町村の青年団で覇を競ったが粒をそろえた大津町青年団が一区よりトップにたち二位を約四〇〇米はなして遂に初優勝を成しとげた。

一区松本桂次順調にトップにたち二区緒方一行ベテランぶりを発揮、三区城野元記懸路にたえて二位との差をはなし四区緒方芳朗地元の声援にたえて更に差をつけ五区白川義典新人らしからぬ健脚を発揮決定的な四〇〇米の差をつけ、アンカー菊川健一あせらずそのまゝの差を持ちこたえ逃げ込んで歓喜の優勝を味わうことが出来た。

尚区間賞を獲得した、松本桂次、城野元記の両君は二月七日県青協郡青年団対抗駅伝に郡代表として出場することが決った。

民生委員の担当地区決定

民生委員さんは十二月の私報で一報しましたが、十二月十六日新委員さんの初会議を大津公民館で開き、坂本町長より厚生大臣の委嘱状を交付、笠原善雄氏を協議会長に選任したのもそれ／＼担当地区を左の通り決定しました。

氏名	担当地区	氏名	担当地区
大塚 忠	上大津、仲町、鶴口	下中仲、目上中御所	
高野広雄	松古、城野町、上組	豊島ハルエ	今村小林、杉下
平野孝一郎	上鶴、前田町、一組	合志真一	上陣内、中島
田上住人	中学通前田町、二組	吉田政治	中陣内、下陣内
笠原善雄	本町、三三四、駅通	高本虎彦	下町上町
山辺 菊	桜町、井手、上	山田太郎	森
石原 清	室二三四五村、西	中林 要	内牧
岩下ハルエ	新灰塚	内田信義	錦野
源川政美	引水庄	太田鉄治	島小川
矢野佐一郎	高尾野新小屋	矢野和子	岩坂
府内 登	飯宿宮本多々良	吉岡蔵雄	吹田
宮崎太七	真木古崎米山	上田一誠	瀬田
田島ツツイ	下中、鶴新開	小西勘太郎	大林
田原 学	片文蔵、新開、上原橋、杉上	古庄武雄	大津、下上馬場
		御所原	渡下上馬場

成年に達する三百余の若人 十五日成人式を行って前途を祝福

来る十五日は「成人の日」です。大津町中央公民館では例年の通り、町内でこの日に成年に達する三百余の人たちのために午前十一時より大津小学校講堂で成人式を挙行いたします。

成人者には記念品を贈呈して有意味な講演なども行いますので、親れなく出席されるよう御案内いたします。

なお、当日は午後一時より城東連合青年団主催で青年の駅伝競走も行います。

無人踏切り反対

町民の皆さまも関心を……

国鉄当局は大津駅一踏切り（中学踏切り）の踏切警手を近く廢止したい意向を明らかにしたので大津町民としては通行人の安全の立場から強く反対の意思表示を行うことになりました。

この踏切のある事通りは鉄路をはさんで小学校、中学校、高等学校などの各学校が集申し、大津町の中心部から陣内御所、瀬田の各部落を結ぶ交通の重要路線であるために交通量も他の踏切に比べものにならないほど集中しており、一日平均の交通量を統計にとつてみますと、歩行者三四〇一名、自転車一七九九、牛馬リヤカー九六台、オートバイ四七四台、大、中、小型トラック六一台、普通トラック一八六台、バス四一合、特殊自動車七四合となつています。

下校び、無人踏切りになりますと子供さんたちの登校、帰宅にも不便になります。そこで坂本町長は国鉄当局に陳情し、無人踏切りにならないよう努力しています。

各地に実る婦人会の

年末援け合い運動

年の瀬を迎え、困った人を援けましよう、と町内各婦人会では十二月十日より一せいに年末援け合い運動を続けていたが大津婦人会の三万四千余円をはじめ平城・藤川・内陣・錦野の各婦人会より続々と募金・衣料が届き厚生課・民生委員の手を通してそれ／＼の家庭に分配された。

風邪／かぜ／に注意

新しい年と共に寒さはいよ／＼本格的になつて参ります。近年は定期便のように變な流感に悩まされますが、夏の胃腸病と共に、流感、感冒等の呼吸器病が冬の疾病の大半を占めて参ります。風邪は万病の元と申します。が、風邪位と、甘く見ていると、大事に至ることがあります。

ではどうして風邪等ひくのでせうか。私共の咽喉や鼻には、いつでも少しの細菌がかくれていて、体の調子が乱れたときに乘じて活動を始めます。

人間の体はいつも同じ体温を保つように皮膚で調節していますが、冬になると皮膚の調節では間に合わないのです。着物を調節するわけです。しかし余り厚着をしていいますと、皮膚の体温を調節する機能が怠けものになつて、効き方がよくなくなり、急に寒い目にあつたり、あつて汗をかいたあとをそのままにしておきますと、冷やから、冷い風が入りゴツツとして身体が乱れて、風邪をひきます。

「年寄りつ子」はよく風邪をひくと云ふのは、自分が寒い為にクシャミをしては一枚着せ、鼻水出したと云つては一枚着せして、厚着をさせている為で、寒さのためより、あつたの為に風邪をひかせている場合が多いと云われています。

私共の体は機關車石炭燃して動くように色々の食物が、体の中で消化され、燃えてからだの器官を活動させる原動力となつていきます。

子供は大人よりもこの体の中で燃えている力が強い為に少しかけ廻つたり、こたつに入つたりしたらず／＼汗をかきます。厚着をさせられている子供は、他の子供よりよけいに汗をかき、厚着の為に愈々くせのついた皮膚は、汗がかわく時にとる体温を調節出来なで、すぐ風邪をひきます。子供に余り厚着のくせをつけないようにしたいものです。

尚、感冒にかゝり、咳が出る人は「マスク」をかけて、他の人に伝染させぬよう致しましょう。大人は一寸した風邪ですんでも、乳幼児は気管支炎や、肺炎等重症になるおそれがあります。

最近はお病しても、良い薬が色々出ていまして、二、三日で下熱するので、外出したり、無理な仕事をしたりしますが、体中の病変は完全になおつていませんから、しばらくは安静にしていなさい、体力もおちているので、又少しの事で、再発致します。

流感は、御存知のように普通の風邪と違つて、特別な病菌による。伝染病ですから、流行時には、人の沢山集まる場所に小さい子供を連出さぬように気をつけ、外出から帰つたら、うがいや、手洗ひを励行しましょう。

又、冬に入りますと、デフテリアの流行期になります。デフテリアは法定伝染病であり、生後一年以内と、小学校入学前、卒業前の三回、予防注射を受けなければならぬよう法律で定められています。

近年は、四、五才位の幼児にデフテリアに罹る人がふえています。これは赤ん坊の時にした予防注射の効果が、もうなくなつてゐる為だろうと云われています。予防注射がする時には、赤ちゃんとて、三、四才の幼児も、注射を受けておく方が安全です。

デフテリアは主に鼻や、咽喉をおかす病気で、デフテリア菌を持っている人の痰やクシャミから伝染します。病人に近づけないことは勿論必要ですが、やはり、普所から、うがいや手洗ひの習慣をつけておきたいものです。

保健婦 馬場 ミキヲ

中無田 得子

☆☆☆